



記者席配付資料
令和7年7月4日
文化スポーツ部文化振興課

第3回ミセテイワテ動画コンテストの開催について

岩手県では、文化やメディア芸術の振興を図り、岩手の魅力をより多くの方に伝えるため、第3回ミセテイワテ動画コンテストを開催します。

本県の魅力を発信する短編動画作品を7月4日（金）から11月4日（火）まで募集します。

1 目的

岩手県の魅力を発信する短編動画作品を公募するコンテストの開催により、岩手ファンの拡大やクリエイター等の参画を促し、本県の文化やメディア芸術の振興を図るとともに、作品を通して、本県の多彩な魅力を広く発信し、本県に対する認知度の向上及び関係人口の拡大を図る。

2 コンテストの概要

(1) 募集作品：岩手に関連するオリジナル動画作品（表現方法はアニメ、CG、実写等を問わない）

テーマ：「岩手を魅せるのはあなた！？」

岩手の自然や街並み、食、暮らし、ものづくり、伝統文化など、岩手の魅力を伝える動画を募集する。

(2) 募集部門

チャレンジ部門（31秒以上3分以内の作品）

インスタ部門（30秒以内の作品）

(3) 審査員

特別審査員・大友 啓史氏 ほか4名＋1組（別紙「審査員プロフィール」のとおり）

(4) 賞金等

チャレンジ部門		インスタ部門	
最優秀賞（1作品）	賞金15万円、賞状、トロフィー ＋VIDEO SALON.web記事掲載	最優秀賞（1作品）	賞金5万円
優秀賞（3作品）	賞金5万円、賞状	優秀賞（3作品）	賞金2万円
特別賞（2作品）	賞金3万円、賞状	特別賞（3作品）	ご当地WAON 1万円分
奨励賞（2作品）	賞金2万円、賞状	奨励賞（4作品）	ご当地WAON 5千円分

3 スケジュール

- | | |
|----------|----------------------|
| (1) 募集期間 | 令和7年7月4日（金）～11月4日（火） |
| (2) 審査 | 令和7年11月～令和8年1月 |
| (3) 結果発表 | 令和8年1月下旬 |
| (4) 表彰式 | 令和8年2月上旬 |



4 ミセテイワテ動画コンテスト特設サイト <https://miseteiwate.jp>

（7月4日公開予定）

※応募方法や審査基準、詳細の募集要項等は、特設サイトを御覧ください。

【担当：文化振興課 主幹兼文化交流担当課長 米澤、主査 刈屋（内線 6286）】

審査員プロフィール

■特別審査員

映画監督 大友 啓史



©興梠真穂

1966 年盛岡市生まれ。慶應義塾大学法学部卒業。

1990 年 NHK 入局、秋田放送局を経て、1997 年から 2 年間 L.A. に留学、ハリウッドで脚本や映像演出に関わることを学ぶ。

『ちゅらさん』、『ハゲタカ』、『白洲次郎』、大河ドラマ『龍馬伝』等の演出、映画『ハゲタカ』(09) の監督を務める。2011 年 4 月 NHK 退局、株式会社大友啓史事務所を設立。次々と話題作を手がける。

〔主な作品〕

『るろうに剣心』シリーズ 5 部作 (12～21)、
『プラチナデータ』(13)、『秘密 THE TOP SECRET』(16)、
『ミュージアム』(16)、『3 月のライオン』二部作 (17)、
『影裏』(20)、『レジェンド&バタフライ』(23)、
最新作は『宝島』(2025 年 9 月 19 日公開予定)、
NETFLIX 映画『10DANCE』(2025 年 12 月配信予定)

■アンバサダー兼審査員

映像ディレクター 高橋 栄樹



岩手県生まれ。日本大学芸術学部映画学科卒業。

MV ディレクターとして、THE YELLOW MONKEY から AKB48、乃木坂 46 など幅広く手がける。2012 年からは三作連続で、ドキュメンタリー映画『Documentary of AKB48』シリーズを担当。

2020 年には『僕たちの嘘と真実 Documentary of 欅坂 46』を監督した。

最新作は、カンテレドラマ『MADDER その事件、ワタシが犯人です』(3 話・4 話)

■審査員



クリエイティブ・ディレクター サミュエル・トーマス

2015-2016年に120か国で放送のTV番組Fashion One 東京支部の編集長を経て、2016年から瀬戸株式会社のクリエイティブ・ディレクターとしてコンテンツ制作を担当。2017年に東京大学修士号を修了。

内閣府等の動画制作事業でプロデューサーとして活動。環境省や観光庁の英字原稿執筆・編集も担当。令和5・6年度の東京都の海外向け情報発信事業でアドバイザーとして活動。2013年から2023年までThe Japan Timesに記事を寄稿。2013年から2023年まで文化学園大学で非常勤講師として講義を行っている。



映画監督兼写真家 シビラ・パトリチア

東京を拠点とするエミー賞受賞経歴をもつ映画監督兼写真家。日本にて藍染をテーマにした『色をこえて青を見る』は、2025年にイギリスのSheffield DocFest やアメリカのDC/DOX でプレミア上映された。2022年には『The Dark Side of Manga』(VICE) を撮影し、2023年にエミー賞を受賞。



マルチクリエイター・プロデューサー Kiona

武田鉄矢氏のマネージャーを務めたことをきっかけに音楽・エンターテインメント業界へ。Sony、Adobe、コカ・コーラなど国内外100社以上の映像を手がけ、SNSでの累計再生回数は2億回を超える。

CALEN (総フォロワー60万人)、Natsuka (総フォロワー25万人) をゼロからプロデュース。著書『縦型動画で世界を制す 〜一瞬のマジックで心をつかむ方法』を出版。自身のSNSフォロワーは40万人を超える。

受賞歴 Vertical Movie Award 2023 準グランプリ、浅草観光連盟映像コンテスト 2021 グランプリ。



旅クリエイター くぼたび

“年300日くらい旅するアラサー夫婦”のゆうきとまなみ。

全国のホテルや観光スポットを、SNS (YouTube/Instagram/TikTok など) で紹介し、総フォロワー数は300万人超え。

「47都道府県すべてを主役に。」を夢に、日本の地域の魅力を広めるべく、今日も元気に飛び回っている。

SNSの力を活かした地域おこしに注力し、観光業界や自治体とコラボした活動も多数。三陸の海鮮と盛岡冷麺がすき。